

第2学年

令和2年度

シラバス

赤門鍼灸柔整専門学校

鍼灸指圧科

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	阿部 康一	学科・年	鍼灸指圧科 2年
科目名	心理学	曜日・時間	月曜日 9:10～

### 【授業概要・目標】

人間理解のための「心の構造と機能」の基本的研究の成果を講じ、医療現場におけるクライアント理解のためのコミュニケーション心理学を言語研究の領域からアプローチする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	心理研究の歴史展開
2	脳機能の概略
3	脳と心の関係
4	脳と心の進化と発達
5	脳と知覚・感覚
6	体格の研究の歴史
7	性格の構成要素
8	性格の検査方法
9	性格検査(テスト)の実際
10	知能の研究の歴史
11	知能の構成要素
12	知能の測定方法
13	知能検査(テスト)の実際
14	学習の研究の歴史
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	学習と記憶の過程
2	学習の企画化と教育
3	言語の発達と心理的変容
4	思考と言語表現の関連
5	言語コミュニケーション
6	非言語コミュニケーション
7	対人コミュニケーション
8	対社会(集団)コミュニケーション
9	情報社会におけるコミュニケーション
10	心理的正常と異常
11	心理障害と心理療法
12	心理障害とカウンセリング
13	カウンセリングの理論と実際
14	心身医学と心理学
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の成績による評価
授業の進め方	講義において、DVD(VTR)視聴、簡易実験、検査(テスト)を実施。
注意 (学生に望むこと)	配布される資料・図版等のプリント類は、毎時持参すること。
テキスト・参考書	印刷物として配布。

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平	学科・年	鍼灸指圧科 2年
科目名	東洋医学各論 I	曜日・時間	月曜日 10:50～

## 【授業概要・目標】

五臓六腑の生理機能への理解を深め、病証、相互関係、病因病機について理解する。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	肝・胆の生理作用の復習、 肝・胆の病証	1	是動病・所生病
2	肝・胆の生理作用の復習、 肝・胆の病証	2	是動病・所生病
3	心・小腸の生理作用の復習、 心・小腸の病証	3	外感病因
4	心・小腸の生理作用の復習、 心・小腸の病証	4	外感病因、内感病因
5	脾・胃の生理作用の復習、 脾・胃の病証	5	内生五邪
6	脾・胃の生理作用の復習、 脾・胃の病証	6	肝系統の伝変と波及
7	肺・大腸の生理作用の復習、 肺・大腸の病証	7	心系統の伝変と波及
8	肺・大腸の生理作用の復習、 肺・大腸の病証	8	脾系統の伝変と波及
9	腎・膀胱の生理作用の復習、 腎・膀胱の病証	9	肺系統の伝変と波及
10	腎・膀胱の生理作用の復習、 腎・膀胱の病証	10	腎系統の伝変と波及
11	心・脾・肝の相互関係、 心・肺・脾の相互関係	11	脈診(寸口診法)
12	肺・脾・腎の相互関係、 脾・肝・腎の相互関係	12	脈診(脈状診)
13	肺・脾・肝の相互関係、 心・脾・腎の相互関係	13	脈診(脈状の詳細)
14	六腑の協調関係、全身の気機	14	脈診(比較脈診)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)	◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検	15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書
注意 (学生に望むこと)	板書の記録
テキスト・参考書	東洋医学概論

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	浦山 きか	学科・年	鍼灸指圧科 2年
科目名	漢文学(半期)	曜日・時間	後期) 月曜日 13:10～

## 【授業概要・目標】

漢文の知識を身につけ、医学古典籍(中国・日本)を読むことができるようになる。

<前期>	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

<後期>	
回	授業テーマ
1	授業概要
2	辞書を読む(第三章)
3	漢文を読むための基礎知識(第四章～第五章)
4	短文読解の実際1(第六章)
5	短文読解の実際2(第六章)
6	短文読解の実際3(第六章)
7	『啓迪集』『老人門』読解
8	『靈枢』の読解
9	短文読解の実際4(第六章)
10	短文読解の実際5(第六章)
11	『靈枢』以外の鍼灸古典の読解(中国書)
12	本草書に関する知識と理解
13	『傷寒論』に関する知識と理解
14	『史記』扁鵲倉公伝の読解
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	授業中の解答で2割、ペーパー試験で8割。
授業の進め方	原則的にテキストに沿って進む。
注意 (学生に望むこと)	後期授業は、授業中の内職のため授業をよく聞いておらず、結果的に不合格になるケースが多くなるので各自注意されたし。
テキスト・参考書	『漢文で読む『靈枢』』(森ノ宮医療学園出版部)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	煙山 貴之	学科・年	鍼灸指圧科 2年
科目名	臨床医学総論	曜日・時間	火曜日 9:10～

### 【授業概要・目標】

東洋療法を実践するうえで必要な臨床医学全般についての知識を修得する。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	運動機能検査-1
2	診察の概要	2	運動機能検査-2
3	医療面接	3	運動機能検査-3
4	視診・触診・打診・聴診	4	女性・小児・高齢者の診察
5	生命徴候	5	臨床検査法-1
6	全身の診察-1	6	臨床検査法-2
7	全身の診察-2	7	おもな症状の診察法-1
8	全身の診察-3	8	おもな症状の診察法-2
9	局所の診察-1	9	おもな症状の診察法-3
10	局所の診察-2	10	おもな症状の診察法-4
11	局所の診察-3	11	おもな症状の診察法-5
12	神経系の診察-1	12	おもな症状の診察法-6
13	神経系の診察-2	13	治療学
14	神経系の診察-3	14	臨床心理
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)	◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検	15	評価点検

評価方法	筆記試験
授業の進め方	講義形式であるが、対話的に行う。
注意 (学生に望むこと)	解剖学・生理学を復習したうえで授業に臨む。
テキスト・参考書	臨床医学総論

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	安斎 昌弘	学科・年	鍼灸指圧科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅱ	曜日・時間	火曜日 10:50～

### 【授業概要・目標】

基本手技を習得し、一般的な全身施術、様々な姿勢に応じた各部位の施術、各種疾患・スポーツ障害・リンパ等への応用を習得すること。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション基本の復習
2	全身状態の確認 全身施術
3	〃
4	マッサージの応用分野について
5	マッサージの生体に及ぼす作用
6	結合組織マッサージ
7	産業・保険マッサージ
8	スポーツマッサージの概要
9	スポーツ障害：下腿・足関節
10	スポーツ障害：大腿・膝関節
11	スポーツ障害：頸肩腕痛
12	スポーツ障害：上肢痛・肘
13	スポーツ障害：腰背部痛
14	実技試験（口頭試問あり）
15	総合復習

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	美容マッサージ（体幹部）
2	美容マッサージ（顔面部）
3	運動麻痺の施術
4	末梢性麻痺の施術
5	中枢性麻痺の施術
6	高齢者の疾患
7	各種疾患についての応用
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	リンパマッサージの概要・基本手技
13	リンパマッサージの概要・基本手技
14	実技試験（口頭試問あり）
15	スポーツ障害：下腿・足関節、 総復習

評価方法	授業（出席）態度、各試験（実技・筆記）での総合評価。授業内にて筆記テスト。
授業の進め方	実技を主として、関連疾患、スポーツ障害等の理解。学生の理解度により、授業の変更あり。
注意 （学生に望むこと）	授業への積極的取組、解剖生理等も関連して予習復習もする。
テキスト・参考書	教科書、スポーツ東洋療法ハンドブック（医道の日本社）、他プリント等。

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	長岡 靖彦	学科・年	鍼灸指圧科 2年B組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅱ	曜日・時間	火曜日 10:50～

### 【授業概要・目標】

基本手技を習得し、一般的な全身施術、様々な姿勢に応じた各部位の施術、各種疾患・スポーツ障害・リンパ等への応用を習得すること。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション基本の復習
2	全身状態の確認 全身施術
3	〃
4	マッサージの応用分野について
5	マッサージの生体に及ぼす作用
6	結合組織マッサージ
7	産業・保険マッサージ
8	スポーツマッサージの概要
9	スポーツ障害：下腿・足関節
10	スポーツ障害：大腿・膝関節
11	スポーツ障害：頸肩腕痛
12	スポーツ障害：上肢痛・肘
13	スポーツ障害：腰背部痛
14	実技試験（口頭試問あり）
15	総合復習

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	美容マッサージ（体幹部）
2	美容マッサージ（顔面部）
3	運動麻痺の施術
4	末梢性麻痺の施術
5	中枢性麻痺の施術
6	高齢者の疾患
7	各種疾患についての応用
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	リンパマッサージの概要・基本手技
13	リンパマッサージの概要・基本手技
14	実技試験（口頭試問あり）
15	スポーツ障害：下腿・足関節、 総復習

評価方法	授業（出席）態度、各試験（実技・筆記）での総合評価。授業内にて筆記テスト。
授業の進め方	実技を主として、関連疾患、スポーツ障害等の理解。学生の理解度により、授業の変更あり。
注意 （学生に望むこと）	授業への積極的取組、解剖生理等も関連して予習復習もする。
テキスト・参考書	教科書、スポーツ東洋療法ハンドブック（医道の日本社）、他プリント等。

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	伊東 太郎	学科・年	鍼灸指圧科 2年
科目名	病理学概論	曜日・時間	前期) 火曜日 13:10～ 後期) 金曜日 14:50～

## 【授業概要・目標】

- ・他の医療従事者と共通認識が持てるよう基本的な病理学を習得する。
- ・「生理学」と「疾病」の理解を深める。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	第1章 病理学とはどのような学問か
3	第2章 疾病についての基本的な考え方
4	第3章 病因 (1)
5	第3章 病因 (2)
6	第3章 病因 (3)
7	第3章 病因 (4)
8	第3章 病因 (5)
9	第4章 循環障害 (1)
10	第4章 循環障害 (2)
11	第4章 循環障害 (3)
12	第5章 退行性病変 (1)
13	第5章 退行性病変 (2)
14	前期学習内容の復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期内容の確認試験
2	第6章 進行性病変 (1)
3	第6章 進行性病変 (2)
4	第6章 進行性病変 (3)
5	第7章 炎症 (1)
6	第7章 炎症 (2)
7	第8章 腫瘍 (1)
8	第8章 腫瘍 (2)
9	第8章 腫瘍 (3)
10	第8章 腫瘍 (4)
11	第9章 免疫異常・アレルギー (1)
12	第9章 免疫異常・アレルギー (2)
13	第10章 先天性異常 (1)
14	後期学習内容の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

評価方法	小テスト評価(20%)、課題評価(20%)、定期試験評価(60%)を総合して評価
授業の進め方	・教科書の内容を中心にスライドで講義。 ・毎回の小テストと課題で理解を深める。
注意 (学生に望むこと)	・授業後は復習をしてください。 ・分からないところはそのままにせず、調べてください。
テキスト・参考書	『病理学概論』(東洋療法学校協会編)

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸指圧科 2年A組
科目名	鍼灸応用実技Ⅱ	曜日・時間	前期) 火曜日 14:50～ 後期) 月曜日 14:50～

## 【授業概要・目標】

- ・代表的な体表指標がとれるようになる。
- ・要穴の正確な取穴ができるようになる。
- ・丁寧な刺鍼、施灸ができるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	刺鍼・施灸の基本実技確認
2	体表指標の復習
3	体表指標の取り方と背部俞穴 ①
4	体表指標の取り方と背部俞穴 ②
5	体表指標の取り方と背部俞穴 ③
6	体表指標の取り方と背部俞穴 ④
7	体表指標の取り方と背部俞穴 ⑤
8	前期中間実技試験
9	原絡配穴法 ①
10	原絡配穴法 ②
11	原絡配穴法 ③
12	原絡配穴法 ④
13	原絡配穴法 ⑤
14	前期実技試験
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期実技試験の復習
2	鍼灸の補瀉説明と実技
3	難行六十九難の説明と実技
4	六十九難の取穴と施術 ①
5	六十九難の取穴と施術 ②
6	六十九難の取穴と施術 ③
7	六十九難の取穴と施術 ④
8	六十九難の取穴と施術 ⑤
9	六十九難の取穴と施術 ⑥
10	後期中間実技試験
11	五俞穴・五要穴の取穴と施術 ①
12	五俞穴・五要穴の取穴と施術 ②
13	五俞穴・五要穴の取穴と施術 ③
14	後期実技試験
15	評価・点検

評価方法	小テスト(15%)＋中間実技試験(15%)＋実技試験(70%)で評価
授業の進め方	講義20分(小テスト含む)と実技70分のペースで授業をしていく予定。
注意 (学生に望むこと)	(1) 毎日、コツコツ練習をしてください。 (2) 態度・言葉遣い・白衣汚れ・身なりに気を付け、授業後は掃除をすること。
テキスト・参考書	『新版 経絡経穴概論』(医道の日本社)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	高橋 はるか	学科・年	鍼灸指圧科 2年B組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅲ	曜日・時間	前期) 火曜日 14:50～ 後期) 月曜日 14:50～

### 【授業概要・目標】

全身の指圧治療法を習得することを目指す。  
変化を感じられる手を作ると共に、変化を起こせる圧を習得し、効果的な指圧治療が行えるようにする。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション 垂直圧・押圧操作の確認、下肢部	1	背腰部
2	治療の流れ、施術上の注意 垂直圧・押圧操作の確認、背部	2	背腰部
3	全身施術(1～11)	3	下肢部
4	前回の復習、 全身施術(12～16)	4	下肢部
5	前回の復習、 全身施術(17～23)	5	上肢部・肩上部
6	前回の復習、 全身施術(24～27)	6	上肢部・肩上部
7	前回の復習、 全身施術(28～33)	7	頸部
8	前回の復習、 全身施術(34～37)	8	頸部
9	前回の復習、 全身施術(38～41)	9	頭部・顔面部
10	前回の復習、 全身施術(42～43)	10	頭部・顔面部
11	前回の復習、 全身施術(時間を計測)	11	側臥位の施術
12	全身施術(時間を計測)	12	側臥位の施術
13	実技試験・全身施術(時間を計測)	13	実技試験・全身施術
14	実技試験・全身施術(時間を計測)	14	実技試験・全身施術
15	評価点検・全身施術	15	評価点検・全身施術

評価方法	実技試験、授業態度。
授業の進め方	学生自身が反復して行うことが重要なので、学生主体で進めていく。
注意 (学生に望むこと)	授業時間は積極的に集中して取り組むと共に、術者役・患者役がコミュニケーションを取りながら行うことを希望する。
テキスト・参考書	プリント使用

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	佐藤 捷	学科・年	鍼灸指圧科 2年
科目名	運動学	曜日・時間	水曜日 9:10～

## 【授業概要・目標】

解剖学と物理学の立場から生きている人体の動きを観察・分析するのがキネシオロジーである。  
リハビリテーション医学の土台の1つをくわしく解説する。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	I. はじめに(目的、意義、評価法)	1	VI. 生体力学 ①力学の基礎
2	II. 身体運動の記述 ①運動の種類	2	②運動の法則
3	②表記法 ③面軸方向	3	③てこの原理
4	III. 運動神経生理学 ①筋収縮	4	VII. 関節の運動学 ①総論
5	②筋力 ③運動の制御 ④体力	5	②上肢の関節の運動 (肩・肘・前腕・手)
6	IV. 姿勢 ①重心・安定性	6	②上肢の関節の運動 (肩・肘・前腕・手)
7	②神経機構	7	②上肢の関節の運動 (肩・肘・前腕・手)
8	V. 歩行 ①観察法 ②特徴	8	②上肢の関節の運動 (肩・肘・前腕・手)
9	③歩行周期 ④ストライド	9	③下肢の関節の運動 (骨盤・股関節・膝部・足部・足関節)
10	⑤運動学的分析(1)	10	③下肢の関節の運動 (骨盤・股関節・膝部・足部・足関節)
11	⑤運動学的分析(2) ⑥小児の歩行	11	③下肢の関節の運動 (骨盤・股関節・膝部・足部・足関節)
12	⑦異常歩行(1)	12	③下肢の関節の運動 (骨盤・股関節・膝部・足部・足関節)
13	⑦異常歩行(2)	13	④体幹・脊椎の動き
14	⑦異常歩行(3)	14	④体幹・脊椎の動き
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)	◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検	15	評価点検

評価方法	1. 定期試験 2. 小テスト 3. すばらしい反応への持点
授業の進め方	講義形式であるが、課題・問答もとり入れる
注意 (学生に望むこと)	解剖学を十分に学習しておくこと
テキスト・参考書	1. 佐藤著「キネシオロジーノート・4訂版」(テキスト) 2. 解剖学の教科書(参考書)

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	宮田 正則	学科・年	鍼灸指圧科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅲ	曜日・時間	水曜日 10:50～

## 【授業概要・目標】

指圧全身治療法の習得。覚える為には反復練習あるのみ。1年間で3回、反復練習を行いたい。1回目は施術法を覚える。2回目は圧の方向、施術順の意味、等各施術の意義を確認しながら行う。3回目はより細かく、TEXTに無い部位の施術法も教える。圧する時の姿勢、心構えも覚えてもらいたい。座学は10分程度で、出来るだけ実技の時間とする。各部位施術の際には入れて話したい。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	圧す姿勢の確認(どのような姿勢、腕の状態ですれば良いか)	1	腰痛の発生機序 腰部→下肢の施術
2	圧法の基本の確認、圧の程度、長さ、間隔の確認。2線の押し方。全身施術、脊柱棘突起の触診	2	圧の方向 肩→頸部
3	全身施術、軽擦→棘突起触診→背部伸展→脊柱手掌圧→母指圧迫(背部)→骨盤上縁→臀溝→下肢	3	赤門祭対策 …全身施術の簡略形の練習
4	全身施術、前回の復習、肩部の施術	4	赤門祭対策 …側臥位での全身施術
5	全身施術、前回の復習、伏臥位、頸部の施術	5	前頸部治療の注意点 前頸部の施術
6	全身施術、前回の復習、頭部→頸部の施術	6	顔面部施術の注意点 顔面部施術
7	全身施術、前回の復習、上肢の施術→運動法(これで伏臥位施術終了)	7	上肢・下肢施術の注意点 上肢→下肢の施術(より細かい)
8	全身施術、伏臥位施術の復習、仰臥位、前頸部の施術	8	臀部・大転子・足底部の施術 大腿→下肢→足底の施術
9	全身施術、前回の復習、顔面部施術	9	下肢中心の施術(30分程度で行う)
10	全身施術、前回の復習、仰臥位、上肢→下肢の施術	10	上肢中心の施術(30分程度で行う)
11	全身施術、前回の復習、腹部の施術	11	側臥位での上肢の施術
12	全身施術、前回の復習、仕上げ施術	12	側臥位での下肢への施術
13	実技テスト、全身施術反復練習	13	実技試験
14	反復練習、2回目開始 脊柱棘突起触診の意味	14	これまでで足りなかった部分を行う
15	評価点検 全身施術(チェック項目を確認しながら)	15	評価点検 全身施術(チェック項目を確認しながら)

評価方法	施術姿勢、習熟度。
授業の進め方	一方通行にならないよう、対話形式で行う。
注意 (学生に望むこと)	施術手順のみで無く、それぞれの手技の意味、施術している部位の意味、等を学んでほしい。
テキスト・参考書	プリント使用

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸指圧科 2年B組
科目名	鍼灸応用実技Ⅱ	曜日・時間	水曜日 10:50～

## 【授業概要・目標】

- ・代表的な体表指標がとれるようになる。
- ・要穴の正確な取穴ができるようになる。
- ・丁寧な刺鍼、施灸ができるようになる。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	刺鍼・施灸の基本実技確認	1	前期実技試験の復習
2	体表指標の復習	2	鍼灸の補瀉説明と実技
3	体表指標の取り方と背部俞穴 ①	3	難行六十九難の説明と実技
4	体表指標の取り方と背部俞穴 ②	4	六十九難の取穴と施術 ①
5	体表指標の取り方と背部俞穴 ③	5	六十九難の取穴と施術 ②
6	体表指標の取り方と背部俞穴 ④	6	六十九難の取穴と施術 ③
7	体表指標の取り方と背部俞穴 ⑤	7	六十九難の取穴と施術 ④
8	前期中間実技試験	8	六十九難の取穴と施術 ⑤
9	原絡配穴法 ①	9	六十九難の取穴と施術 ⑥
10	原絡配穴法 ②	10	後期中間実技試験
11	原絡配穴法 ③	11	五俞穴・五要穴の取穴と施術 ①
12	原絡配穴法 ④	12	五俞穴・五要穴の取穴と施術 ②
13	原絡配穴法 ⑤	13	五俞穴・五要穴の取穴と施術 ③
14	前期実技試験	14	後期実技試験
15	評価点検	15	評価点検

評価方法	前期:実技試験による、後期:実技試験による その他:出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書・シラバスに基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更されたりすることがある
注意 (学生に望むこと)	(1)毎日、コツコツ練習をしてください。 (2)態度・言葉遣い・白衣汚れ・身なりに気を付け、授業後は掃除をすること。
テキスト・参考書	『新版 経絡経穴概論』(医道の日本社)

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平	学科・年	鍼灸指圧科 2年
科目名	臨床経穴論	曜日・時間	木曜日 9:10～

## 【授業概要・目標】

経絡経穴の基礎知識を深める事と、臨床的な知識を身に付ける。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	足の厥陰肝経	1	前期復習
2	足の少陽胆経	2	督脈
3	手の少陰心経	3	任脈
4	手の太陽小腸経	4	奇経八脈(督脈・任脈以外)
5	足の太陰脾経	5	奇穴(頭頸部～背部)
6	足の陽明胃経	6	奇穴(上肢～経穴組み合わせ)
7	手の太陰肺経	7	骨度法
8	手の陽明大腸経	8	胸腹部の経穴 表作成
9	足の少陰腎経	9	背腰殿部の経穴 表作成
10	足の太陽膀胱経	10	要穴表
11	手の厥陰心包経	11	国試過去問
12	手の少陽三焦経	12	国試過去問
13	前期復習	13	国試過去問
14	前期復習	14	国試過去問
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)	◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検	15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書、パワーポイントの活用
注意 (学生に望むこと)	板書の記録
テキスト・参考書	経絡経穴概論

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	山田 秀一郎	学科・年	鍼灸指圧科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅰ	曜日・時間	木曜日 10:50～

<b>【授業概要・目標】</b> 腹部あん摩、伏・側臥位での施術ができるようになる。臨機応変に対処できるようになる。
---

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	一年時の復習(伏臥位後頸部より腰下肢までの流れ全体)	1	側臥位 下肢施術(4)
2	〃	2	下肢痛に関する内容説明
3	腹部あん摩①	3	側臥位 下肢施術 流注、取穴
4	側臥位 肩背部施術(1)	4	側臥位 下腿施術(5)
5	肩こりに関する内容説明	5	側臥位 頸部施術
6	伏臥位 肩背部施術	6	頸部疾患、症状の説明
7	側臥位 上肢施術(2)	7	側臥位 頸部施術 流注、取穴
8	上腕痛に関する内容説明	8	側臥位 頭部施術(6)
9	側臥位 上肢施術 流注、取穴	9	頭部・症状疾患・流注、取穴と施術
10	側臥位 腰施術	10	全体復習(臨床応用)
11	腰痛に関する内容説明(3)	11	〃
12	側臥位 腰施術 流注、取穴	12	〃
13	伏臥位 腰施術・前期復習	13	〃
14	実技試験	14	実技試験
15	評価点検	15	評価点検

評価方法	授業(出席)態度、(施術姿勢、習熟度)、各試験での総合評価。
授業の進め方	臨床を目標に互いに施術役、受け役の状況にて見本手技の向上を図る。巡回しながら個々への指導。学生の理解度にて変更あり。
注意 (学生に望むこと)	実技が主となるため、積極的に復習し習得のための練習。
テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、(東洋医学手技臨床論)、他プリント

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	安斎 昌弘	学科・年	鍼灸指圧科 2年B組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅰ	曜日・時間	木曜日 10:50～

## 【授業概要・目標】

腹部あん摩、伏・側臥位での施術ができるようになる。臨機応変に対処できるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	一年時の復習(伏臥位後頸部より腰下肢までの流れ全体)
2	〃
3	腹部あん摩①
4	側臥位 肩背部施術(1)
5	肩こりに関する内容説明
6	伏臥位 肩背部施術
7	側臥位 上肢施術(2)
8	上腕痛に関する内容説明
9	側臥位 上肢施術 流注、取穴
10	側臥位 腰施術
11	腰痛に関する内容説明(3)
12	側臥位 腰施術 流注、取穴
13	伏臥位 腰施術・前期復習
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	側臥位 下肢施術(4)
2	下肢痛に関する内容説明
3	側臥位 下肢施術 流注、取穴
4	側臥位 下腿施術(5)
5	側臥位 頸部施術
6	頸部疾患、症状の説明
7	側臥位 頸部施術 流注、取穴
8	側臥位 頭部施術(6)
9	頭部・症状疾患・流注、取穴と施術
10	全体復習(臨床応用)
11	〃
12	〃
13	〃
14	実技試験
15	評価点検

評価方法	授業(出席)態度、(施術姿勢、習熟度)、各試験での総合評価。
授業の進め方	臨床を目標に互いに施術役、受け役の状況にて見本手技の向上を図る。巡回しながら個々への指導。学生の理解度にて変更あり。
注意 (学生に望むこと)	実技が主となるため、積極的に復習し習得のための練習。
テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、(東洋医学手技臨床論)、他プリント

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸指圧科 2年
科目名	東洋療法診断法 I	曜日・時間	金曜日 9:10～

## 【授業概要・目標】

東洋医学の施術において必要となる診断法の習得。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	鍼灸臨床の流れ
2	基本的な問診の仕方
3	腰痛の主要疾患
4	腰痛の問診
5	腰痛の診察法
6	坐骨神経痛の主要疾患
7	坐骨神経痛の問診
8	坐骨神経痛の診察法
9	膝関節痛の主要疾患
10	膝関節痛の問診
11	膝関節痛の診察法
12	頸肩upper肢痛の主要疾患
13	頸肩upper肢痛の問診
14	頸肩upper肢痛の診察法
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	四診の概要、望診
2	舌診
3	聞診
4	問診(主訴の聴き方)
5	問診(寒熱)
6	問診(飲食・睡眠)
7	問診(飲食・睡眠)
8	問診(情志・生活環境)
9	問診(身体各部位の症状・汗)
10	問診(疼痛)
11	問診(女性・既往歴・家族歴・小児)
12	切診(反応・切経)
13	切診(腹診)
14	後期の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書、パワーポイントの活用
注意 (学生に望むこと)	板書の記録
テキスト・参考書	前期:問診・診察ハンドブック、後期:東洋医学概論

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	國分 俊繁	学科・年	鍼灸指圧科 2年
科目名	臨床医学各論Ⅰ	曜日・時間	金曜日 10:50～

## 【授業概要・目標】

各疾患についての疫学、成因、症状などを学習する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	感染症Ⅰ
2	感染症Ⅱ
3	感染症Ⅲ
4	消化器疾患Ⅰ
5	消化器疾患Ⅱ
6	消化器疾患Ⅲ
7	消化器疾患Ⅳ
8	肝・胆・膵疾患Ⅰ
9	肝・胆・膵疾患Ⅱ
10	肝・胆・膵疾患Ⅲ
11	呼吸器疾患Ⅰ
12	呼吸器疾患Ⅱ
13	呼吸器疾患Ⅲ
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腎・泌尿器疾患Ⅰ
2	腎・泌尿器疾患Ⅱ
3	腎・泌尿器疾患Ⅲ
4	内分泌疾患Ⅰ
5	内分泌疾患Ⅱ
6	代謝・栄養疾患
7	循環器疾患Ⅰ
8	循環器疾患Ⅱ
9	循環器疾患Ⅲ
10	循環器疾患Ⅳ
11	血液・造血疾患Ⅰ
12	血液・造血疾患Ⅱ
13	血液・造血疾患Ⅲ
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験
授業の進め方	板書・配布資料
注意 (学生に望むこと)	身体の構造と機能をもとに疾患の理解を深める
テキスト・参考書	テキスト:臨床医学各論 参考書:病気がみえる

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	高橋 武彦	学科・年	鍼灸指圧科 2年A組
科目名	鍼灸応用実技 I	曜日・時間	金曜日 13:10～

### 【授業概要・目標】

鍼灸臨床の中で多く扱われている頸部、肩関節、腰部、膝関節部を中心に構造や傷害の発生のメカニズムを知り、問診法、鑑別診断力、局所への治療技術の基礎を身につける。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	身体診察・計測
2	関節可動域
3	頸部-1
4	頸部-2
5	肩部-1
6	肩部-2
7	肘部
8	前腕・手指
9	頸・上肢：鑑別法-1
10	頸・上肢：鑑別法-2
11	頸・上肢：鑑別法-3
12	頸・上肢：鑑別法-4
13	頸部・上肢総合-1実技試験
14	頸部・上肢総合-2実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腰部-1
2	腰部-2
3	股関節・大腿部
4	膝-1
5	膝-2
6	下腿部・足部
7	腰・下肢：鑑別法-1
8	腰・下肢：鑑別法-2
9	腰・下肢：鑑別法-3
10	症例検討-1
11	症例検討-2
12	症例検討-3
13	症例検討-4実技試験
14	症例検討-5実技試験
15	評価点検

評価方法	出席、授業態度、口答・実技・筆記試験、課題提出の総合評価とする。
授業の進め方	授業のテーマを予習（解剖構造、検査法のノート作成）、授業でポイントを確認しながら実技の習熟度を高めていく。
注意 (学生に望むこと)	積極的に課題（ノート作成）に取り組み、構造や動きを理解すること。 患者想定で会話をしながら繰り返した実技練習に取り組むこと。
テキスト・参考書	問診診察ハンドブック、解剖学教科書、その他必要に応じて示指する。

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	國分 俊繁	学科・年	鍼灸指圧科 2年B組
科目名	鍼灸応用実技Ⅰ	曜日・時間	金曜日 13:10～

## 【授業概要・目標】

臨床で必要な運動器疾患の理学所見と鑑別法、その疾患を学ぶ。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	総論(主訴、現病歴)、病症について	1	肘痛、手関節、指Ⅰ
2	頸・上肢痛Ⅰ	2	肘痛、手関節、指Ⅱ
3	頸・上肢痛Ⅱ	3	足関節～足趾Ⅰ
4	頸・上肢痛Ⅲ	4	足関節～足趾Ⅱ
5	肩関節Ⅰ	5	足関節～足趾Ⅲ
6	肩関節Ⅱ	6	大腿・下腿部Ⅰ
7	肩関節Ⅲ	7	大腿・下腿部Ⅱ
8	腰痛	8	症例鑑別診断Ⅰ
9	坐骨神経痛Ⅰ	9	症例鑑別診断Ⅱ
10	坐骨神経痛Ⅱ	10	症例鑑別診断Ⅲ
11	膝関節痛Ⅰ	11	症例鑑別診断Ⅳ
12	膝関節痛Ⅱ	12	検査と治療Ⅰ
13	膝関節痛Ⅲ	13	検査と治療Ⅱ
14	前期実技試験	14	後期実技試験
15	評価点検	15	評価点検

評価方法	前期・後期実技試験による
授業の進め方	問診・診察ハンドブックを用い実技を行う
注意 (学生に望むこと)	検査・鑑別は臨床力の多くを占めます。治療だけに問われない臨床力を！
テキスト・参考書	テキスト:問診・診察ハンドブック

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	上田 耕介	学科・年	鍼灸指圧科 2年
科目名	社会学(半期)	曜日・時間	前期) 金曜日 14:50～

## 【授業概要・目標】

社会学の基礎概念を学び、それを医療と関連づけて考えることにより、医療者の社会的責任を自覚する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	社会学の基礎概念(1)
2	社会学の基礎概念(2)
3	社会学の視点(1)
4	社会学の視点(2)
5	保健医療と社会学
6	健康とは何か
7	健康と社会格差
8	患者—医療者関係
9	専門職
10	ジェンダー、家族
11	福祉国家と保健医療(1)
12	福祉国家と保健医療(2)
13	福祉国家と保健医療(3)
14	現代医療の課題
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	学期末に筆記試験を行い評価する。
授業の進め方	教科書に沿って講義を行う。
注意 (学生に望むこと)	普段から社会のことに興味を持って欲しい。
テキスト・参考書	『系統看護学講座 基礎分野 社会学』

2020 年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸指圧科 2 年
科目名	臨床実習①	曜日・時間	月火水木・3・4 時限

【授業概要・目標】

①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	臨床実習前授業（Ⅰ）	1	臨床実習（15）
2	臨床実習前授業（Ⅱ）	2	臨床実習（16）
3	臨床実習（1）	3	臨床実習（17）
4	臨床実習（2）	4	臨床実習（18）
5	臨床実習（3）	5	臨床実習（19）
6	臨床実習（4）	6	臨床実習（20）
7	臨床実習（5）	7	臨床実習（21）
8	臨床実習（6）	8	臨床実習（22）・振り返り
9	臨床実習（7）	9	
10	臨床実習（8）	10	
11	臨床実習（9）	11	
12	臨床実習（10）	12	
13	臨床実習（11）	13	
14	臨床実習（12）	14	
◆	臨床実習（13）	◆	
15	臨床実習（14）	15	

評価の方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備（補助）などを中心に行う。
注意（学生に望むこと）	積極的に実習に参加してもらいたい。
使用テキスト・参考書	なし

2020 年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸指圧科 2 年
科目名	臨床実習②	曜日・時間	月火水木・3・4 時限

【授業概要・目標】

①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	臨床実習前授業（Ⅰ）	1	臨床実習（15）
2	臨床実習前授業（Ⅱ）	2	臨床実習（16）
3	臨床実習（1）	3	臨床実習（17）
4	臨床実習（2）	4	臨床実習（18）
5	臨床実習（3）	5	臨床実習（19）
6	臨床実習（4）	6	臨床実習（20）
7	臨床実習（5）	7	臨床実習（21）
8	臨床実習（6）	8	臨床実習（22）・振り返り
9	臨床実習（7）	9	
10	臨床実習（8）	10	
11	臨床実習（9）	11	
12	臨床実習（10）	12	
13	臨床実習（11）	13	
14	臨床実習（12）	14	
◆	臨床実習（13）	◆	
15	臨床実習（14）	15	

評価の方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備（補助）などを中心に行う。
注意（学生に望むこと）	積極的に実習に参加してもらいたい。
使用テキスト・参考書	なし

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（鍼灸指圧科）

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	実務内容
東洋医学概論Ⅰ	1年次	60	高橋はるか	5年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
経絡経穴概論Ⅱ	1年次	30	三保翔平	10年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
鍼灸基礎実技	1年次	60	高橋はるか	5年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
			伊東太郎	5年以上	鍼灸院を開業した経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
東洋療法診断法Ⅰ	2年次	60	三保翔平	10年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
鍼灸応用実技Ⅱ	2年次	60	古川雄一郎	5年以上	鍼灸院での勤務経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
			伊東太郎	5年以上	鍼灸院を開業した経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
按摩マッサージ指圧理論	3年次	60	三保翔平	10年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
鍼灸臨床実技Ⅱ	3年次	60	安齋昌弘	40年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
			伊東太郎	5年以上	鍼灸院を開業した経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
	合計時間数	390			